

行政処分等への対応・再発防止に向けた取り組み

当社子会社であるSMBC日興証券株式会社の元役職員が金融商品取引法第159条第3項（違法な安定操作取引）に違反した事態（相場操縦事案）並びに同社及び当社子会社である株式会社三井住友銀行の役職員の間で非公開情報を授受し銀証ファイアーウォール規制に違反した事態（銀証FW規制違反事案）を受け、当社取締役会では、経営管理体制上の課題や改善策等について、議論を重ねてまいりました。2022年11月、当社、SMBC日興証券株式会社及び株式会社三井住友銀行の3社は、同様の事態を二度と繰り返さないよう、各社において、改善計画を策定し、公表いたしました。以降、改善計画に基づく施策の着実な実行等を通じた経営管理体制及び内部管理体制の強化並びに健全な組織文化の醸成等に努めております。

2023年5月31日

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

目次

改善策等の進捗状況（全体）	1
相場操縦事案の改善策等の進捗状況（SMBC日興証券）	2
相場操縦事案の改善策等の進捗状況（当社）	4
銀証FW規制違反事案の改善策等の状況	5
参考資料	6

改善策等の進捗状況（全体）

2022年11月 改善計画策定

現在

再発防止に向けた枠組みの策定・構築

実装・実効性検証

浸透・定着

相場操縦 事案	<p>1 経営管理体制の強化</p> <p><SMBC日興証券></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経営執行の監督強化 新たな社外取締役の招聘（予定） ● 役員向けコンプライアンス研修実施 ● 「守り」への重点的な資源配分 2線・3線における人員増強及び内部管理体制強化のための100億円超のIT投資 ● 1線・2線の専門性強化 外部人材の積極採用 ● 「商品・サービス協議会」設置 リスク・課題及びそれらへの対応を1線・2線で協議 <p><当社></p> <ul style="list-style-type: none"> ● SMBC日興証券の役員人事・資源配分計画への関与強化及び十分性の検証 	<p>2 内部管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3線管理（※）の実効性向上 外部知見を活用した戦略実現のための仕組みの策定・実装 ● コンプライアンス部門の再編 統括機能強化、役割・責任の明確化 ● 「不公正取引防止部会」設置 不公正取引のリスクについて、1線・2線が議論することにより 売買管理体制を強化 	<p>3 健全な組織文化の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たな理念体系の策定 従来の理念体系を再構築し、SMBCグループの「Five Values」を内包 ● 経営陣と従業員との対話 改善策や会社の方向性等を議論する場の設定（計271拠点で開催済）
	銀証FW 規制違反 事案	<p>4 経営管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部通報勉強会の実施 ● 当社コンプライアンス部の体制強化 	<p>5 顧客情報管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報管理ルール of 制定・徹底 ● 人工知能等を活用した事後モニタリングの高度化

（※）SMBCグループの「3つの防衛線」

バーゼル銀行監督委員会がリスクガバナンスのためのフレームワークとして推奨している「3つの防衛線」の考え方を踏まえ、当社グループでは、1線（事業部門等）、2線（リスク管理・コンプライアンス担当部署）、3線（監査部）の役割及び責任を明確化し、リスク管理体制・コンプライアンス体制の実効性の向上及び強化を図っています。

相場操縦事案の改善策等の進捗状況（SMBC日興証券）

施策内容	主な進捗状況
(1) 経営管理体制の強化	
経営執行の監督強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 高い証券専門性・監督に知見を有する外部人材を取締役として選任し、主にコンプライアンス、リスク管理、業務管理等の分野を中心に業務執行を監督。 ● 監査等委員会では、業務執行状況のヒアリング対象を拡大（併せてスタッフも増員）し、その内容を取締役会に報告する等、取締役会と監査等委員会の連携を高度化。 ● 今後、取締役会の実効性評価の中で、アジェンダセッティングや取締役会構成について検証予定。
役員向けコンプライアンス研修等	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営のリスク認識向上のベースとなる経営陣の法令理解の徹底を目的として、役員・理事向けのコンプライアンス研修実施。 ● 全社的潜在リスクの洗い出しを目的として、部店長・社員向けアンケート継続実施。
「守り」への重点的な資源配分	<ul style="list-style-type: none"> ● 中期経営計画・業務計画策定にあたって、2線・3線への資源配分の十分性を踏まえた計画を策定。 <ul style="list-style-type: none"> － 人的リソースの配分は、期中での柔軟な見直しを前提に、2線・3線に重点配分。 － システム投資は、中計期間で100億円超を内部管理体制強化案件に充当。
1線・2線の専門性強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 1線・2線、経営、監督それぞれの観点で、相互補完・牽制強化に資する配置を実施。 <ul style="list-style-type: none"> － 1線：グローバル・マーケット部門は、外部からエクイティビジネスに精通した外部人材を採用し、共同統括とするなど、相互に補完・牽制し合う体制を強化。 － 経営執行：潜在リスクの洗い出しをミッションとする特命担当の配置を継続。
「商品・サービス協議会」設置	<ul style="list-style-type: none"> ● リスク・課題・対応を1線・2線で協議し、商品・サービスの管理体制を強化。
(2) 内部管理体制(不公正取引を防止する体制を含む)の強化	
3線管理の実効性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部知見を活用した戦略実現のための仕組み（ターゲットオペレーティングモデル）を策定・実施。「あるべき姿」とその実現に向けた具体的なアクションプランを固め、実装フェーズへ。
コンプライアンス部門の再編	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス部門を再編（*1）。統括機能強化、役割・責任の明確化。
「不公正取引防止部会」設置	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別事案等を用い、不公正取引のリスクについて、1線・2線が議論し、売買管理体制強化。オブザーバーとして、外部弁護士等が参加。

相場操縦事案の改善策等の進捗状況（SMBC日興証券）

施策内容	主な進捗状況
(3) コンプライアンスを重視する健全な組織文化の醸成	
新たな理念体系の策定	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ共通のFive Valuesを内包した日興として大切にする価値観5つを新たに定めるなど、SMFGの理念体系と日興の理念体系との関係性を整理し、位置づけを明確にした、日興としての新たな理念体系を策定（*2）。Five Valuesの切り口に加え、証券会社として独自に大切にすべき価値観「健全な市場を守る」を追加。
経営陣と従業員との対話	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業店への臨店（*3）等を通じて改善策・会社の方向性等を社員に対し繰り返し説明。 <ul style="list-style-type: none"> － 全部店での開催が完了(計271拠点)。参加者から出た意見等について、経営会議メンバーで議論し、各種施策等へ反映。
コンプライアンス意識醸成	<ul style="list-style-type: none"> ● 各部門において、リスクカルチャー浸透に向けた計画を策定・実行中。
人事評価制度の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス・リスク管理の観点から全コース共通の職業倫理・コンプライアンス評価を導入し、各コース別に評価体系の見直しを実施。

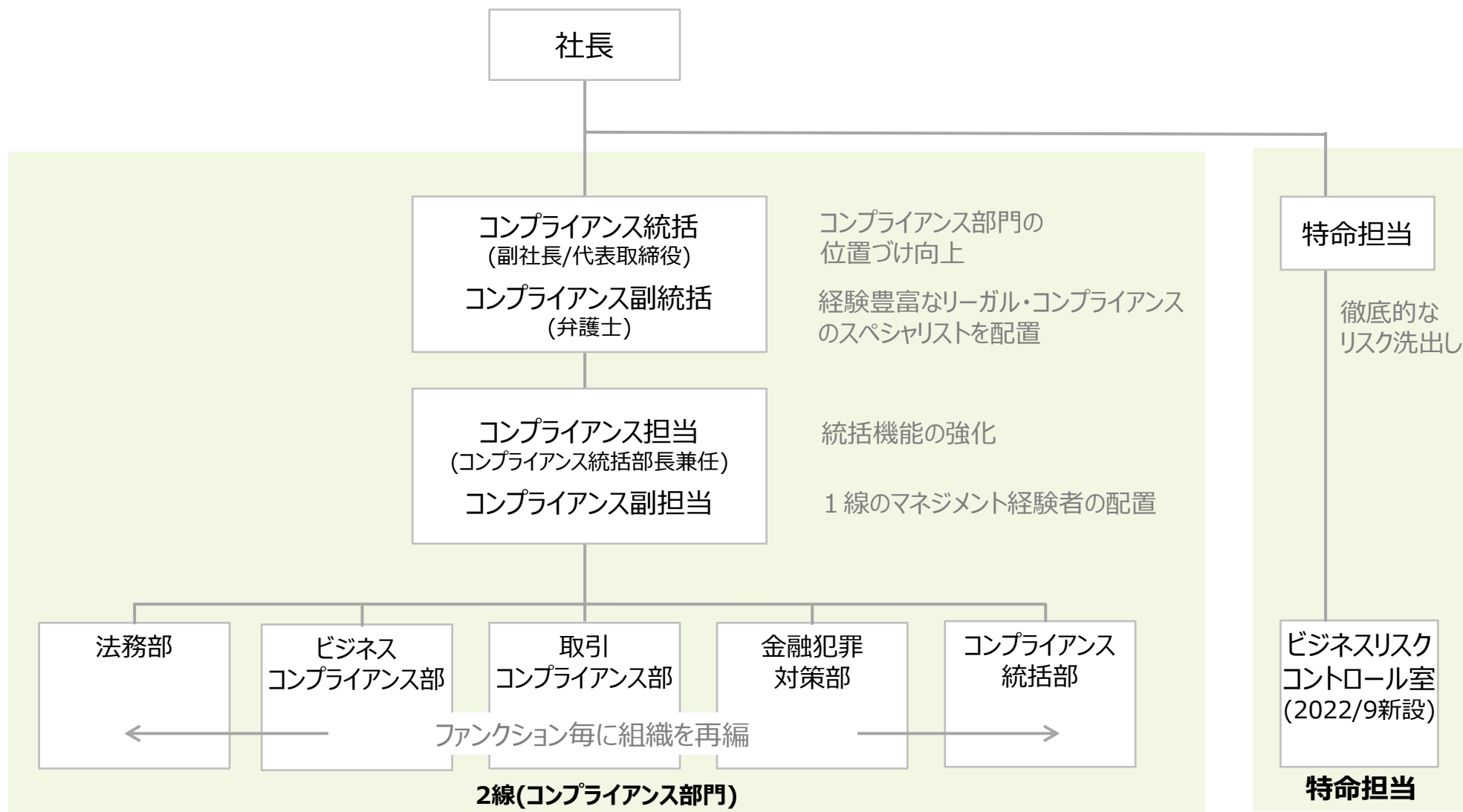
相場操縦事案の改善策等の進捗状況（当社）

施策内容	主な進捗状況
(1) 商品・サービスの管理体制見直し	
日興の自己勘定取引運営見直しをフォロー	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己勘定取引の運営見直しに係る議論に参画。再発防止策に関する内部監査を実施。
日興のプロダクトガバナンス強化をフォロー	<ul style="list-style-type: none"> ● 体制整備に係る規程改訂等につき、SMFGとして協議を受領し、内容を確認。継続フォロー中。
(2) 人事に係るSMFGの関与強化	
日興の人事関連対応をフォロー	<ul style="list-style-type: none"> ● 役員異動の際、役員体制の整備状況を日興でチェックの上、SMFGで検証する体制を確立。 ● 日興の役員賞与へのマルス・クローバック条項（没収条項等）の導入支援。
(3) 3 Lines of Defense の再整備	
日興の人的リソース・システム資源配分をフォロー	<ul style="list-style-type: none"> ● 日興が策定するリソース配分に関する計画について、経営所管・費用所管部のみならず、2線・3線にてフォロー。
(4) 有事即応体制の整備、有事におけるSMFGの関与強化	
有事即応体制レベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ● SMFG内に「グループビジネス管理室」を設置（*4）。 ● 日興のみならず主要グループ8社を中心にコミュニケーションを強化し、有事対応力を強化。
(5) SMBCグループとしてのカルチャー浸透の取組み	
SMBCグループとしての価値観の再周知	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ共通のFive Valuesを内包した日興として大切にしている価値観5つを新たに定め、日興の理念体系の見直しを実施し、位置づけを明確化。 ● SMBCグループ年度方針会議・日興部店長会議にて、CEOメッセージ発信。

銀証FW規制違反事案の改善策等の状況

主な進捗状況	
(1) 経営管理体制の強化	
日興	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部弁護士等の専門家による役員向け研修を実施。健全なリスクカルチャーの浸透に向けた実行計画を策定し、実施中。
SMBC	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部弁護士による経営会議役員向け研修を実施。 ● グループベースでの内部通報勉強会を実施し、内部通報制度の周知徹底を実施。 ● コンプライアンス部と事業部門間で人材交流を実施。
当社	<ul style="list-style-type: none"> ● CCOによるコンプライアンス勉強会をグループ各社へと展開。 ● 日興におけるコンプライアンス・リスクアセスメントの結果を踏まえ、コントロール策が設けられている旨を検証。 ● SMFGコンプライアンス部門に、証券業務の監督を主務とする担当者を配置。
(2) 顧客情報管理体制の強化	
日興	<ul style="list-style-type: none"> ● 通話録音モニタリングの体制強化のため、RPA (Robotic Process Automation) の活用開始。 ● 「銀証連携ガイドライン」について、アンケート調査で出た意見を踏まえ、具体例等を設けた内容に改定。
SMBC	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別オプトアウトに関するルールを制定・徹底、AI等を活用したモニタリング実施中。
当社	<ul style="list-style-type: none"> ● グループベースの「コンプライアンス研修管理規則」を制定。コンプライアンス研修サイクルにおけるプロセスや、SMFG宛にレビュー結果・年間研修計画の実施状況を報告する旨を規程化。
(3) 顧客情報管理に係るコンプライアンス意識の醸成	
日興	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内リーニエンスー制度（自らが関与した不正を自主的に申告した場合、社内処分の減免を可能とする仕組み）を推進するため、内部通報規則の改定を実施。
SMBC	<ul style="list-style-type: none"> ● 出向者や帰任者に対して、FW規制等に関する研修を実施。
当社	<ul style="list-style-type: none"> ● 不芳事案を題材とした手触り感のある内容にて、銀証合同研修を開始。 ● 2023年度よりSMFG版「コンプライアンスに関する習熟度確認テスト」を新設。

(*1) SMBC日興証券 コンプライアンス部門の再編 (2023/1)



(*2) SMBC日興証券 新たな理念体系の策定

従来の理念体系



新たな理念体系



(*3) SMBC日興証券社長による従業員との対話の様子



(*4) SMFG「グループビジネス管理室」設置

